

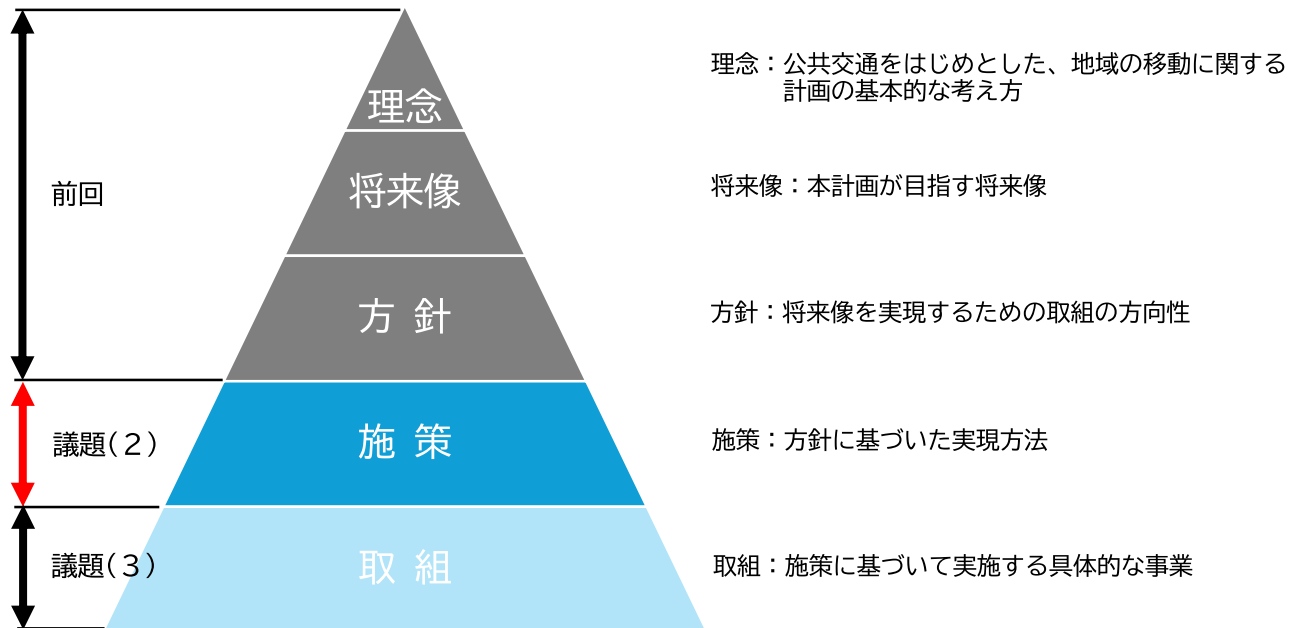
# 1. 松戸市の地域公共交通における施策・取組について

## 1.1 計画構成(案)

本計画の構成(案)を以下に示します。

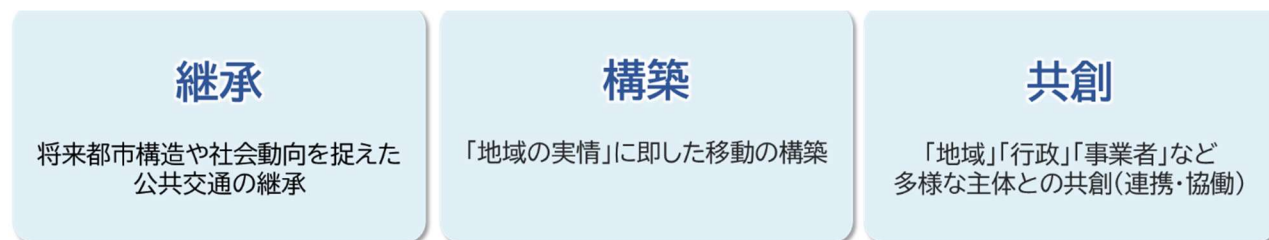
「理念」「将来像」「方針」は、第3回協議会でご提示させていただいた内容です。

本日の第4回協議会では、下記5つの階層のうち、本資料にて議題(2)「施策について」を議題とし、資料6-1・資料6-2にて議題(2)「取組について」を議題とします。



## 1.2 理念

公共交通をはじめとした、地域の移動に関する計画の基本的な考え方として、3つの理念を設定しました。



## 1.3 課題と将来像

本市における交通分野の5つの課題から、本計画が目指す3つの将来像を設定しました。

| 本市における課題      |                      |
|---------------|----------------------|
| ① 公共交通の維持・確保  | ④ 交通弱者への対応           |
| ② 移動の利便性向上    | ⑤ 発災時を想定した対応・環境負荷の軽減 |
| ③ 地域の特性に即した対応 |                      |

| 将来像1                                                         | 便利で使いやすい移動手段の実現 |
|--------------------------------------------------------------|-----------------|
| ① 日常の移動がしやすくなる<br>② お出かけがしやすくなる<br>③ 地域が活性化する                |                 |
| 将来像2                                                         | 市民・事業者・行政の共創の実現 |
| ① 環境負荷の少ない交通手段が広がる<br>② 災害に強い交通体系<br>③ 情報が共有され、連携・協働の体制が連立する |                 |
| 将来像3                                                         | 持続可能な交通手段の実現    |
| ① 市民が自ら考え行動し、責任を持って利用する<br>② 各移動手段が最適化されている                  |                 |

#### 1.4 松戸市の地域公共交通における取組の基本方針

|     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| 方針1 | 基幹的な役割を果たす公共交通の利便性の維持向上            |
| 方針2 | 多様なニーズに対応する移動サービスの形成               |
| 方針3 | 基幹的公共交通と多様な移動サービスとの役割分担、連携         |
| 方針4 | 安心・安全で快適に移動できるまちの整備                |
| 方針5 | 市民や利用者の関心を高め、理解を深める啓発・情報発信         |
| 方針6 | 多様な主体が横断的に連携・協働し、効果的に力を発揮できる仕組みづくり |

## 1.5 取組の基本方針に基づく施策

### (1) 基幹的な役割を果たす公共交通の利便性の維持・向上

#### 【基本方針の概要】

本市は、公共交通の利便性の高さが特徴の一つであり、特に鉄道と路線バスが都市の基幹的な役割を果たしています。将来にわたって住みやすい環境を形成するため、住民の移動を支える鉄道と路線バスの利便性の維持・向上をめざします。

#### 【施策の概要】

基幹的な役割を果たす公共交通の利便性の維持・向上に向けて、鉄道駅の利便性向上や路線バスの維持や定時性・速達性の向上、利用環境の整備等に取り組みます。

#### 施策① 鉄道の利便性の維持・向上

—具体的な取組例—

- 1) 松戸駅の利便性向上
- 2) ホームドアの設置
- 3) 新たな駅や路線の可能性の検討

#### 施策② 路線バスの利便性の維持・向上

—具体的な取組例—

- 1) 運行路線の定時性・速達性の向上
- 2) バス路線の再編
- 3) バス待ち空間の魅力向上
- 4) 環境に配慮した車両の導入

議題(2)

## (2) 多様なニーズに対応する移動サービスの形成

### 【基本方針の概要】

本市には、基幹的な公共交通以外に、地域の実情に即した移動サービスやタクシー等、個別のニーズに対応する多様な移動サービスが存在します。これらの多様な移動サービスを展開することにより、公共交通と相互に補完し、住民の移動の選択肢を広げることをめざします。

### 【施策の概要】

本市では、コミュニティバスやグリーンスローモビリティ、シェアサイクル等、多様な移動サービスの導入が進んでいることから、これらを活用することで、効率的で柔軟な移動を実現します。

また、本市では、タクシーが市全域をカバーしていることから、利便性の向上により、さらに移動しやすいまちを形成します。

#### 施策① タクシーの利用環境整備

—具体的な取組例—

- 1) タクシー乗降場新設の検討
- 2) タクシーの利用環境の整備
- 3) 環境に配慮した車両の導入

#### 施策② 地域の実情に即した移動手段の導入検討

—具体的な取組例—

- 1) コミュニティバスの維持・改善
- 2) モード導入の新たな手引き策定
- 3) 個別のニーズに対応する地域内移動手段の検討
- 4) シェアモビリティの利活用
- 5) 自動運転車両の導入検討

議題(2)

### (3) 基幹的公共交通と多様な移動サービスとの役割分担、連携

#### 【基本方針の概要】

基幹的公共交通は大量輸送を担う移動モードとして、多様な移動サービスはラストワンマイルや個別のニーズに対応する柔軟な移動モードとして、それぞれの役割を担い、相互に補完し合うことで、利便性向上の相乗効果を生むことをめざします。

#### 【施策の概要】

基幹的公共交通と多様な移動サービスの役割を明確にし、関係者が認識を共有できるようにとりまとめます。

また、本市の拠点である主要駅や主要バス停の結節機能の強化や、各移動モードに関する多様な主体の連携強化等に取り組みます。

#### 施策① 移動手段ごとの役割の明確化

—具体的な取組例—

- 1) あり方の検討
- 2) 分担・連携

#### 施策② 交通結節点の機能強化

—具体的な取組例—

- 1) 駅前広場の整備・改良
- 2) 駐輪場の利便性向上
- 3) モビリティハブの形成
- 4) 乗り継ぎのしやすさの向上

議題(2)

#### (4) 安心・安全で快適に移動できるまちの整備

##### 【基本方針の概要】

基幹的公共交通や多様な移動サービスをより有効に活用していくため、各拠点に適した交通インフラを検討し、誰もが安心して、安全かつ快適に移動できるまちの整備をめざします。

##### 【施策の概要】

本市には、狭隘な道路や舗装が劣化した歩道等がみられることから、誰もが安心・安全に移動できるよう、舗装の整備に取り組みます。

また、本市は SDGs 未来都市やウォーカブル推進都市として新しいまちづくりに取り組んでいることから、拠点の特色に合わせて、歩行者専用道路の整備や公共交通機関のバリアフリー化、災害時の避難ルートの確保等を展開し、安心・安全かつ快適に移動できる環境づくりに取り組みます。

##### 施策① 鉄道駅周辺の魅力向上

—具体的な取組例—

- 1) 松戸駅周辺の魅力向上
- 2) 新松戸駅周辺地域の魅力向上
- 3) 市街地再開発事業等による北小金駅周辺の整備
- 4) 八柱駅周辺の整備
- 5) 常盤平団地の再整備

##### 施策② 公共交通の利用につながるインフラ整備

—具体的な取組例—

- 1) 安心・安全な歩行環境の整備
- 2) 自転車の利用環境の促進
- 3) 道路渋滞の解消

議題(2)

## (5) 市民や利用者の関心を高め、理解を深める啓発・情報発信

### 【基本方針の概要】

市民や利用者に対して、公共交通や移動に関する啓発や情報発信を活発にし、市民や利用者が十分な情報を持ったうえで自ら選択し、本市が有する多様な移動モードを有効に活用できる状態をめざします。

### 【施策の概要】

本市には、駅やバス停の近傍に居住しているものの公共交通の利用頻度が低い市民や利用方法・利用情報の取得などにハードルのある市民が一定数存在していることから、公共交通に関する情報を様々な方法で発信し、市民や利用者幅広く周知する取組を行います。

また、市民一人ひとりが自分に合った移動モードを選択し、積極的に行動変容を起こすことができるように、市民が主体的に参画できる取組を充実させます。

#### 施策① 情報発信力の強化

—具体的な取組例—

- 1) 公共交通を使いやすくなる情報提供の推進
- 2) 移動に関する支援・補助・サービス等の情報発信

#### 施策② モビリティ・マネジメントの実施

—具体的な取組例—

- 1) 市民の意識啓発の推進
- 2) 心のバリアフリーの推進
- 3) 市民の利用体験機会の創出

議題(2)

## (6) 多様な主体が横断的に連携・協働し、効果的に力を発揮できる仕組みづくり

### 【基本方針の概要】

本市の地域公共交通及び各種移動モードに関わる多様な主体が、望ましい将来像を共有し、同じ方向に向かって連携・協働できる仕組みづくりをめざします。

### 【施策の概要】

本市は、交通や移動に関わる事業者や関係団体が多岐にわたることから、意思決定を速やかに行い、迅速に課題を解決していくため、関係者間で意見交換できる場を増やしていきます。

また、多様な主体が情報を共有し、共通の課題への対応や協働プロジェクト等を着実に推進できる体制や仕組みを目指します。

#### 施策① 関係者間の協力・連携の枠組みづくり

—具体的な取組例—

- 1) 多様な関係者との協議の場の設置
- 2) 近隣自治体との連携・協議
- 3) 災害時の連携体制の構築

#### 施策② 共創によるより良いサービスの実現

—具体的な取組例—

- 1) 交通を中心とした生活基盤の検討
- 2) 乗務員不足への対応

議題(2)